



Soft Step

取扱説明書

Ver. 3.0

はじめに

この度は、SoftStep3 をご購入いただき、誠にありがとうございます。このドキュメントは、SoftStep3 および SoftStep Editor ソフトウェアの使用に関する詳細な情報を提供しています。

SoftStep またはそのソフトウェアに関するご質問やご意見は、以下よりお問い合わせいただけます。

・テクニカルサポート : <https://www.soundhouse.co.jp/customers/support/repair>

・一般的なご質問 : <https://www.soundhouse.co.jp/customers/inquiry/index>

ダウンロード先

SoftStep ソフトウェアは MK のウェブサイトよりダウンロードできます：
<https://www.musekinetics.com/downloads/>

SoftStep パッケージ内容

SoftStep のパッケージには以下が含まれています：

- ・ SoftStep3
- ・ USB A - USB C ケーブル (3m)
- ・ SoftStep 用バッグ

SoftStep3 の新機能

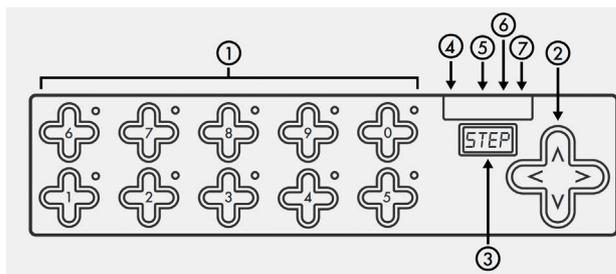
SoftStep3 は、当社の MIDI コントローラーペダルシリーズの最新モデルです。SoftStep3 には、コンピュータやモバイルデバイスに接続するための USB-C 端子が搭載されています。従来のバージョンとは異なり、SoftStep3 には MIDI エクスパンダー端子がなく、代わりに TRS MIDI Out 端子があります。そのため、SoftStep3 はシリアル MIDI IN 接続を持たず、USB 経由でのみ MIDI IN を受信できます。

また、モジュラーやアナログシンセサイザーとの接続用に 2 系統の CV アウトを備えた CV 端子が追加されました。

新しい SoftStep Editor ソフトウェアは、従来の SoftStep ハードウェアと完全な互換性があります。このマニュアル内で「TRS MIDI Out ポート」と記載されている項目は、「MIDI Expander ポート」にも適用されます。

1 ハードウェア

1 -1. ハードウェア概要



① キー

キーは操作の中心です。これを踏んで、SoftStep が設定された機能を実行します。各キーには視覚的フィードバック用として、緑と赤の LED (キーの右上) があります。

② ナビパッド

左右を押すとプリセットが切り替わります。Up/Down ボタンは、さまざまな機能を実行するように設定できます。

③ ディスプレイ

SoftStep3 のディスプレイは、現在読み込まれているプリセット、アクティブになっているキーの名称、リアルタイムのパラメータ値を表示します。

④ USB-C

コンピュータやタブレットに接続して USB 経由で MIDI を送信します。また、SoftStep をコンピュータなしで使用するには本機への電源供給にも使えます。

⑤ TRS MIDI Out

ハードウェア機器に TRS MIDI Out (Type A) で接続します。TRS-MIDI アダプターは、Step Adapter Kit (別売) に含まれています。

⑥ CV Out

ステレオ端子から 2 系統の CV アウトを送信します。1/8" ステレオからモノラル×2 のアダプターは、Step Adapter Kit (別売) に含まれています。

⑦ ペダル入力

SoftStep にエクスプレッションペダルを接続するために使用します。入力には 3.5mm (1/8") の TRS フォンケーブルを使用してください。エクスプレッションペダル入力アダプターは、Step Adapter Kit (別売) に含まれています。

1 -2. SoftStep3 の接続方法

SoftStep3 は、ハードウェアとの新しい接続オプションを備えています。USB MIDI 送信のための USB-C 端子に加え、MIDI 機器やアナログシンセサイザーに接続するための TRS MIDI Out 端子および CV 出力端子が新たに搭載されています。

■ USB MIDI

付属の USB A-to-C ケーブルを使用して、コンピュータやタブレットに SoftStep3 を接続します。SoftStep3 には接続されたコンピュータまたはタブレットから電源が供給されます。

※ SoftStep3 は USB ハブ経由でも使用可能ですが、バスパワーではなくセルフパワー（電源付き）の USB ハブを強く推奨します。バスパワーのハブでは SoftStep3 が正常に動作するための電力を供給できない場合があります。コンピュータを使用しない場合は、USB-C 端子から SoftStep3 に電源を供給してください。

■ TRS MIDI Out

TRS MIDI Out 端子を使用して、SoftStep3 を MIDI 機器に接続します。5 ピン MIDI 機器と接続するには、TRS-MIDI アダプター (Type A) を使用します。

■ CV Out 1/2

SoftStep3 は、モジュラーおよびアナログシンセサイザーをコントロールするための CV 信号を出力できます。

CV Out 端子は TRS フォンです。CV1 はチップから、CV2 はリングから送信されます。

初期設定では、CV Out 1 がゲート、CV Out 2 がピッチを出力します。

■ エクスプレッションペダル入力

SoftStep3 にエクスプレッションペダルを接続し、MIDI コントロールソースとして使用できます。接続には 6.3mm (1/ 4") → 3.5mm (1/ 8") TRS アダプターケーブルを使用してください。ペダルの可動範囲は、SoftStep Editor ソフトウェアでキャリブレーション可能です。

※ボリュームペダルは、SoftStep および MK 製品のエクスプレッションペダル入力では動作しません。使用可能なのはエクスプレッションペダルのみです。

■ Step Adapter Kit (別売)

Step Adapter Kit には、SoftStep3 を外部機器に接続するための各種アダプターが含まれています。キットには、TRS MIDI Out アダプター、CV 1/2 ブレークアウトアダプター、6.3mm (1/ 4") → 3.5mm (1/ 8") TRS エクスプレッションペダルアダプターが含まれます。

1 -3. SoftStep3 の外部コントロール

SoftStep のキー LED および英数字ディスプレイはリモートで制御可能です。また、SoftStep は、Control Surface ポートに送信されたプログラムチェンジメッセージに反応します。

SoftStep の LED 制御

SoftStep の LED は、外部のソフトウェアやハードウェアから CC メッセージを使用して制御できます。各キー(0 ~ 9)には赤と緑の LED があり、以下のメッセージに反応します。

■ 赤色 LED

CC 20 ~ 29 がキー 0 ~ 9 の赤色 LED を制御します (各キーに 1 つの CC を割り当て)。各 CC に付ける値により動作が変わります：

- 0 = LED 消灯
- 1 = LED 点灯
- 2 = LED 高速点滅
- 3 = LED 低速点滅

■ 緑色 LED

CC 110 ~ 119 がキー 0 ~ 9 の緑色 LED を制御します (各キーに 1 つの CC を割り当て)。各 CC に付ける値により動作が変わります：

- 0 = LED 消灯
- 1 = LED 点灯
- 2 = LED 高速点滅
- 3 = LED 低速点滅

※ USB 経由で MIDI を送信する場合、CC メッセージは SoftStep Control Surface ポートに送信してください。

■ SoftStep ディスプレイの制御

キー LED に加え、SoftStep の 4 文字ディスプレイも外部ソフトウェアから CC メッセージを使って制御できます。制御対象は各文字ごとに以下の CC に対応します：

- CC 50 = 1 文字目
- CC 51 = 2 文字目
- CC 52 = 3 文字目
- CC 53 = 4 文字目

各 CC メッセージには、値として 48 ~ 122 の範囲を送信してください。この値は以下の文字に対応しています：

- 48 ~ 57 : 数字 0 ~ 9
- 65 ~ 90 : 大文字 A ~ Z
- 97 ~ 122 : 小文字 a ~ z
- 58 ~ 64 および 91 ~ 96 : 記号や特殊文字

例：ディスプレイの 3 文字目に数字「3」を表示するには、CC 52 に値 51 を送信します。

■ プリセットの変更 (プログラムチェンジ)

● スタンドアロンモード

プログラムチェンジメッセージ 1 ~ 16 を SoftStep Control Surface ポートに送信すると、セットリスト内の該当するプリセットが読み込まれます。

(例：プログラムチェンジ 7 を送ると、セットリストの 7 番目のプリセットが読み込まれます)

● ホストモード

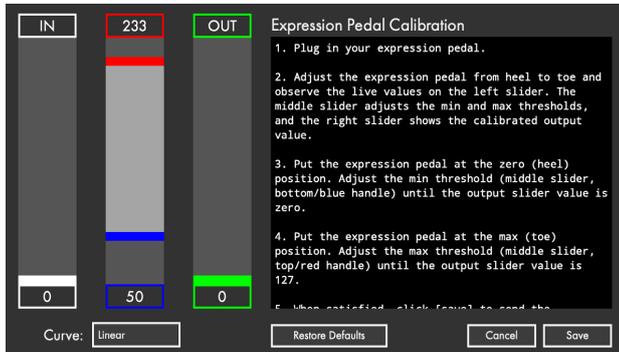
プログラムチェンジメッセージ 1 ~ 16 を、チャンネル 16 で SoftStep Share ポートに送信すると、セットリスト内の該当するプリセットが読み込まれます。

1 -4. エクスプレッションペダルおよびCV アウトのキャリブレーション

エクスプレッションペダルの可動範囲および CV 電圧出力のキャリブレーションは、SoftStep Editor ソフトウェアで行えます。どちらのキャリブレーションウィンドウも、「Hardware」メニューから開けます。

■ エクスプレッションペダルのキャリブレーション

SoftStep に接続したエクスプレッションペダルは、MIDI パラメーターを制御するソースとして使用できます。ペダルの全可変範囲を正確に使用するために、キャリブレーションを行ってください。

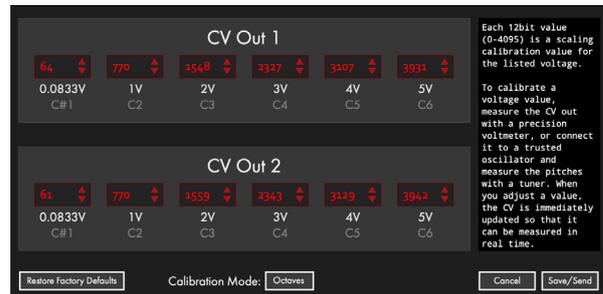


エクスプレッションペダルをキャリブレーションする手順

1. エクスプレッションペダルを接続します。※必ずエクスプレッションペダルを使用してください。ボリュームペダルは使用できません。
2. ペダルをかかと側（ヒール）からつま先側（トゥ）まで動かし、左側のスライダーに表示されるライブ値を確認します。中央のスライダーで最小/最大しきい値を調整し、右側のスライダーにはキャリブレーションされた出力値が表示されます。
3. ペダルをゼロ位置（ヒール側）にして、中央スライダーの下側（青いハンドル）を調整し、出力スライダーの値が 0 になるようにします。
4. ペダルを最大位置（トゥ側）にして、中央スライダーの上側（赤いハンドル）を調整し、出力スライダーの値が 127 になるようにします。
5. 調整が完了したら、[save] をクリックしてキャリブレーション値をデバイスに送信します。

CV 出力のキャリブレーション

CV 出力から送信される電圧は、発振器のピッチのズレや、西洋音階以外の音階・実験的な音律に対応するために微調整できます。キャリブレーションは、「Calibrate CV Outs」ウィンドウを使用して、オクターブ単位またはノート単位で行います。



各 12 ビット値 (0 ~ 4095) は、指定された電圧に対するスケーリング・キャリブレーション値です。

■ 電圧値のキャリブレーション方法

CV 出力を精密な電圧計で測定するか、信頼できるオシレーターに接続してチューナーでピッチを測定します。値を調整すると、CV 出力はリアルタイムで更新され、すぐに測定可能な状態になります。

■ 12 ビット値による直接制御

CV1 は NRPN 1、CV2 は NRPN 2 を使用して、12 ビット値で直接制御できます。

2 Basic Editor

Basic Editor (基本エディター)とAdvanced Editor (詳細エディター)

SoftStep Editor ソフトウェアには、「Basic Editor」と「Advanced Editor」の2種類があります。

SoftStep は非常に高い柔軟性とカスタマイズ性を備えていますが、「高機能には混乱のリスクも伴う」という言葉のとおり、複雑になりやすい面もあります。そこで、よりシンプルに SoftStep をプログラムできるようにするために Basic Editor が用意されています。

■ Basic Editor

- 各キーに対して1つのシンプルな機能のみを割り当て可能
- 操作が簡単で、初心者や基本的な用途に最適
- CV コントロールには対応していません

■ Advanced Editor

- SoftStep のすべての機能にアクセス可能
- 複数のパラメータ、条件設定、X/Y 位置制御、CV 出力など、複雑な動作設定が可能
- 上級ユーザーや、柔軟で高度なコントロールを必要とする場合に推奨

シンプルさを重視するなら Basic Editor、高度な設定や完全な機能を使いたい場合は Advanced Editor を選んでください。

SoftStep Basic Editor 概要



SoftStep Basic Editor は、素早くシンプルな機能を設定したい場合に、SoftStep のプリセットをカスタマイズするのに最適な方法です。

Basic Editor では 10 個のプリセットが用意されており、各キーに1つの機能を割り当てられます。キーは、MIDI ノートの出力、CC トグルとしての動作、キー圧の出力、X/Y 位置データの送信、プログラムチェンジの送信、または縦型スライダーのエミュレートとして設定できます。これらは、ユーザーが最もよく使用する機能です。

2-1. キー

ここでは、SoftStep キーの動作を定義します。エディター上のキーの配置は、SoftStep 本体のレイアウトと同じになっています。

MIDI メッセージタイプ

Basic Editor を使用する場合、各キーには1つの MIDI メッセージを送信します。使用可能な MIDI メッセージタイプは以下の6種類です：

- MIDI ノート – 設定されたベロシティで MIDI ノートを送信します。一時的またはトグル動作が選べます。
- プレッシャー – 設定された CC# に対して圧力値を送信します (スミージングあり)。
- トグル – 設定された CC# の値を、Hi と Lo の2値間でトグルします。
- X/Y – 設定された CC# に対して、X 軸および Y 軸の圧力値をリアルタイムで送信します (ラッチ対応)。
- Y インクリメント – Y 軸の圧力で、設定された CC# の値を増減させます。
- プログラム – バンクチェンジおよびプログラムチェンジメッセージを送信します。

キーを無効にするには、ラジオボタンをクリックして選択をオフにします。

MIDI メッセージパラメーター

MIDI メッセージタイプを選択すると、それぞれの編集可能なパラメーターが表示されます。

各メッセージタイプには異なるパラメーターがあります。

たとえば「MIDI ノート」では、ノート番号、ベロシティ、キーを押した際にトグル動作をするかどうかを設定できます。

「X/Y」では、X 軸と Y 軸それぞれに対して CC 番号を設定でき、キーを離れたときに CC がラッチされるかどうかも選択できます。

■ キー名

キーに最大 4 文字までの名前を入力できます。この名前は、SoftStep のディスプレイに表示されます。

各メッセージタイプにおけるディスプレイ表示の詳細については、「Display Behavior」のセクションを参照してください。

2 -2. 設定

■ 接続インジケータ

Editor が接続されている SoftStep コントローラーを認識しているかどうかを表示します。ファームウェアのアップデート、プリセットの送信、設定の変更を行うには接続が必要です。プリセットの編集や管理のみを行う場合は、接続の必要はありません。

■ MIDI スルー

SoftStep から受信した MIDI 信号を別の MIDI 機器にルーティングします。これにより、Editor ソフトで加えた変更をリアルタイムで確認できます。
※ Windows ユーザーへの注意：既に使用中の MIDI ポートを選択しようとすると、エラーメッセージが表示され処理が停止します。

■ 感度 (Sensitivity)

SoftStep の感度を調整します。この数値はセンサーからのデータに乘算される係数として機能します。数値が高いほど感度が高くなり、低いほど感度が下がります。

範囲：0.5 ~ 2.55 初期値：1.00

■ バックライト

SoftStep のバックライトをオン/オフにします。このチェックボックスをオンにすると点灯、オフにすると消灯します。

■ MIDI チャンネル

SoftStep が MIDI を送信するチャンネルを設定します。
範囲：1 ~ 16 初期値：1

■ ナビパッド CC#

Basic Editor では、ナビパッドの動作は (CC 番号以外) カスタマイズできません。
各プリセットにおいて、ナビパッドは「Y Inc」として動作します。ナビパッドの「Up」を押すと CC 値がインクリメントされ、「Down」を押すとデクリメントされます。
このナビパッドが送信する CC 番号は「Nav Pad CC#」欄で設定できます。

■ ペダル CC#

接続されたエクスプレッションペダルが送信する CC 番号を設定します。Basic Editor のすべてのプリセットでは、エクスプレッションペダル機能が有効になっています。

■ ディスプレイ名

現在選択されているプリセットのディスプレイ名を設定します。この名前は、SoftStep 上でプリセットを切り替える際に表示されるため、識別しやすいユニークな名前を設定を推奨します。最大 4 文字まで使用できます。

2 -3. プリセット

■ 現在のプリセット

編集するプリセットを選択します。Basic Editor では、1 ~ 10 の合計 10 個のプリセットを使用できます。

■ セーブボタン

現在のプリセットに加えた変更を保存します。未保存の変更がある場合、このボタンは赤く点灯します。

■ 元に戻すボタン

プリセットを保存された状態に戻します。未保存の変更はすべて破棄されます。

2 -4. メニューバー

画面上部のメニューバー (Mac OS) またはアプリケーションウィンドウ上部 (Windows) から、さまざまな便利な機能や設定にアクセスできます。プリセットの管理、キーのコピー/ペースト、ファームウェアの管理などが行えます。

■ SoftStep Basic Editor について

この項目は、MacOS ではアプリケーションメニュー内、Windows ではヘルプメニュー内にあります。SoftStep Basic Editor のバージョン情報が表示されます。

-Editor Version : エディターのバージョン番号を表示します。

-Expected : この Basic Editor に含まれるファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアアップデートを実行した際に SoftStep に書き込まれるバージョンです。

-Found : 接続された SoftStep に現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

■ ファイル

ファイルメニューには、ファイルのエクスポート/インポートに関連するオプションが含まれています。

■ プリセットのエクスポート

現在選択されているプリセットをファイルとしてエクスポートします。出力されるファイルは “.softstepbasicpreset” 形式で、Basic Editor にインポートできます。バックアップや別のコンピュータへのプリセット移行に便利です。

■ プリセットのインポート

“.softstepbasicpreset” ファイルを、現在選択されているプリセットに上書きインポートします。インポート後、プリセットのパラメーターは変更されますが、まだ保存されていない状態のため、元に戻すボタンで元に戻せます。

■ 編集 (Edit)

プリセットの編集に関する操作オプションを含みます。

-プリセットのコピー：現在のプリセットの設定をすべてコピーします (あとでペーストするため)。

-プリセットのペースト：コピーされたプリセット設定を、現在選択中のプリセットに貼り付けます。

-カスタムプリセットの使用：現在のプリセットに対して Basic Editor で作成したカスタム設定を使用します。

-ファクトリープリセットの使用：現在の Basic Editor プリセットの代わりに、Advanced Editor で作成された工場出荷プリセットを使用します。この場合、キーエリアはグレーアウトされ、「Using Factory Preset: [プリセット名]」と表示されます。

■ ハードウェア (Hardware)

SoftStep 本体に関するオプションを含みます。

-ファームウェアの更新/再読み込み：ファームウェアの手動アップデートまたは再インストールを実行します。

■ ヘルプ (Help)

ドキュメントや情報に関するオプションを含みます。

-ドキュメント：標準の Web ブラウザを使用して、SoftStep のドキュメントにアクセスします。

-ツールチップの表示/非表示：マウスカーソルをオブジェクトに合わせた際に表示されるツールチップのオン/オフを切り替えます。

3 SoftStep Advanced Editor

Basic Editor は最も一般的な機能をカバーしていますが、より複雑なセットアップが必要な場合には、Advanced Editor が活躍します。

SoftStep Advanced Editor では、最大 16 個のプリセットを完全にカスタマイズ可能です。各キーには複数の機能を割り当てられ、LED の動作も細かく設定できます。また、センサーの反応に関する詳細な設定が可能で、SoftStep の演奏性をより細かくチューニングできます。

3-1. ホストモード/ スタンドアロンモード

SoftStep Advanced Editor は、ホストモード (Hosted Mode) とスタンドアロンモード (Standalone Mode) の 2 つのモードで動作します。

■ ホストモード (Hosted Mode)

ホストモードでは、SoftStep 本体は SoftStep Editor ソフトウェアと常に接続された状態で動作します。SoftStep はセンサーデータを生の状態で Editor に送信し、Editor がそのデータを Modline 設定に従って正しい MIDI メッセージへと変換し、仮想 MIDI ポート「SoftStep Share」から出力します。(※ Windows ユーザーは「SoftStep Share」および仮想 MIDI ポートに関するセクションを参照してください)

ホストモードでは多くの機能と設定が使用可能ですが、SoftStep を使用するには Editor との接続が必要です。利用可能な主な機能は以下のとおりです：

- ステートリコール

ホストモードでのみ利用可能。X/Y インクリメント、トグル状態、LED の状態などがプリセットを切り替えた際にも記憶されます。

- リアルタイムフィードバック

Modline における「Raw」「Result」「Value」などの数値がリアルタイムで更新され、センサーの動作が即座に確認できます。

- 拡張された Modline ソースとメッセージタイプ

ホストモードでは、MIDI A～H、Top、Bottom、トリガーラッチソース、ナビパッド関連など、追加の Modline ソースが使用可能です。また、OSC、アフタータッチ、ポリフォニックアフタータッチ、Y Inc Set、X Inc Set など、ホストモードでのみ使用可能なメッセージタイプもあります。(詳細は「Sources and Message Types」セクションを参照)

- 隣接キーのロックアウト

誤操作防止のための「Adjacent Key Lockout」機能、ホストモード専用です。

■ スタンドアロンモード (Standalone Mode)

スタンドアロンモードでは、すべての MIDI データが SoftStep 本体から直接出力されます。Editor を起動しておく必要はなく、SoftStep は単独で機能します。

また、コンピュータに接続していない状態でも完全に動作可能です。ライブパフォーマンスやシンプルな運用を求める場合に最適です。

■ ディスプレイモード設定

ディスプレイモードを切り替えて、MIDI 値の表示を「0～127」または「1～128」に変更できます。この効果は、ホストモードでは Modline を工夫して同様に実現可能です。

■ シーン切り替えの無効化

「Scene Changing On/Off (シーン切り替えの有効/無効)」設定は、スタンドアロンモードでのみ使用可能です。

■ 出力ポートの違い

ホストモードとスタンドアロンモードでは、使用する MIDI 出力ポートが異なります：

- スタンドアロンモード：

「SoftStep Control Surface」ポートを使用します (SoftStep 本体から直接出力されるデータ用)。

- ホストモード：

「SoftStep Share」という仮想 MIDI ポートを使用します (Editor ソフトウェアから出力されるデータ用)。

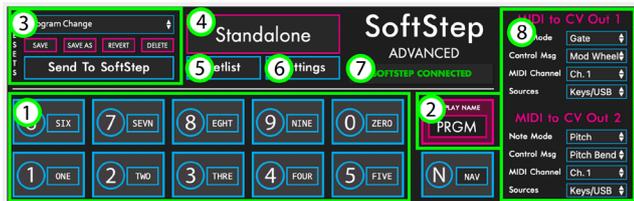
※ 補足：

「SoftStep Share」は、Mac OS 版 Advanced Editor に組み込まれた仮想 MIDI ポートです。

Windows ユーザーは、LoopMIDI などのサードパーティ製 MIDI バスソフトを別途インストールして使用する必要があります。詳細は「SoftStep Share」セクションを参照してください。

3-2. メインウィンドウ概要

Advanced Editor ソフトウェアを起動すると、メインウィンドウが表示されます。ここはすべての操作の入り口であり、キーのカスタマイズ、設定およびセットリストウィンドウの表示、プリセットの管理などを行います。



① キーボックス

Advanced Editor のメインウィンドウにあるキーボックスは、SoftStep 本体と同じレイアウトになっています。下段にキー 1～5、上段にキー 6～0 が配置されており、右側にはナビパッドがあります。キーボックスをクリックすると、そのキーのモジュレーションウィンドウが開きます。

② ディスプレイネームボックス

プリセットが読み込まれたときに SoftStep のディスプレイに表示される名前を設定します (最大 4 文字まで)。

③ プリセットセクション

ドロップダウンメニューからプリセットを選択します。「保存」や「名前を付けて保存」、「元に戻す」、「削除」などの操作が可能です。

④ ホスト/スタンドアロン切替スイッチ

ホストモードとスタンドアロンモードを切り替えます。

⑤ セットリストボタン

セットリストウィンドウを開き、SoftStep に保存されているプリセットの順序を設定します。

⑥ 設定ボタン

SoftStep の全体設定を調整するための設定ウィンドウを開きます。

⑦ 接続インジケータ

SoftStep が接続されて Editor ソフトに認識されると「SoftStep Connected」と表示されます。

⑧ CV セクション

2 つの CV 出力から送信される CV メッセージを設定します。

3-3. キー・モジュレーション・ウィンドウ概要

モジュレーション・ウィンドウの中心となるのが、Modline エリアです。Modline は SoftStep のキーに何を「何を」を指示するもので、データの種類、処理方法、出力方法を設定します。

各キーには最大 6 本の Modline をアクティブに設定でき、それぞれ全く異なる機能を持たせられます。データは Modline 内を左から右へ流れて処理されます。

- Modline の左にあるラジオボタンをクリックすると、その Modline のオン/オフを切り替えられます。

- 「+」ボタンで Modline を追加、「-」ボタンで削除します。



■ 初期化設定 (Inits) ※ホストモード限定

Inits は、プリセットを読み込んだ際に特定のパラメーターや Modline を初期化するための機能です。Init は「モード」と「値」の 2 つの要素で構成されます。

- モード: 初期化が「いつ」「どのように」実行されるかを定義します。

- 値: Init がトリガーされたときに出力される数値です。

使用可能なモードは以下の通りです:

-None: 初期化は行われません。

-Always: このプリセットが読み込まれるたびに、Init の値が出力されます。

-Once: このプリセットが最初に読み込まれたときのみ Init の値を出力します。再度このプリセットに切り替えても出力されません。

※「Once」はセッションごとの動作であり、Advanced Editor を終了して再起動してリセットされます。

■ データソース (Data Sources)

Modline のデータソースセクションでは、SoftStep のどのセンサーデータを使用するかを選択します。ホストモードでは、「Raw」ボックスに選択したデータソースからのリアルタイム生データが表示されます。

キーに対して使用可能な主なデータソースは以下の通りです:

-Pressure Live

キーに現在かかっている圧力の量を出力します。範囲: 0 ~ 127

-X Live

キーにかかっている左右 (X 軸) の圧力を出力します。キーから足を離すと値は中央の 64 に戻ります。範囲: 0 ~ 127 (左→右)

■ データソース (続き)

-Y Live

キーに現在かかっている上下方向 (Y 軸) の圧力を出力します。キーを離すと値は中央の 64 に戻ります。

範囲: 0 ~ 127 (下→上)

-Pressure Latch

キーにかかっている圧力を出力しますが、キーを離してもその時点の値が保持 (ラッチ) されます。

範囲: 0 ~ 127

-X Latch

X Live のラッチバージョン。キーを離した際に最後の左右の圧力値が保持されます。

範囲: 0 ~ 127

-Y Latch

Y Live のラッチバージョン。キーを離した際に最後の上下の圧力値が保持されます。

範囲: 0 ~ 127

-X Increment

左右方向に圧力を加えて値が増減します。増減の速度は「Settings」ウィンドウの「Keys」タブにある「x inc speed」で設定されます。

範囲: 0 ~ 127

-Y Increment

上下方向に圧力を加えて値が増減します。増減の速度は「Settings」ウィンドウの「Keys」タブにある「y inc speed」で設定されます。

範囲: 0 ~ 127

-Foot On

キーを踏んだときに 127 を出力し、離すと 0 を出力します。

-Foot Off

Foot On の逆動作。キーを踏んだときに 0 を出力し、離すと 127 を出力します。

-Random

キーに圧力を加えている間、ランダムな値を連続的に出力します。

-Random Singles

キーを押した瞬間に、1 つのランダムな値を出力します。

-Dbl Trig (ダブルトリガー)

キーを短時間に 2 回押すと、127 を出力し、その 100ms 後に 0 を出力します。

-Long Trig

キーを 1 秒間押し続けると 127 を出力し、100ms 後に 0 を出力します。

-Top (ホストモード専用)

キーの上半分が押されたときに 127 を出力し、離すと 0 を出力します。

-Bottom (ホストモード専用)

キーの下半分が押されたときに 127 を出力し、離すと 0 を出力します。

-Fast Trig (ホストモード専用)

キーを押した瞬間に 127 を出力し、100ms 後に 0 を出力します。

-Off Trig (ホストモード専用)

キーを離したときに 127 を出力し、100ms 後に 0 を出力します。

-Fast Trig Latch (ホストモード専用)

キーを押した瞬間に 127 を出力しますが、0 には戻りません。

-Dbl Trig Latch (ホストモード専用)

キーを素早く 2 回押すと 127 を出力します。0 には戻りません。

-Long Trig Latch (ホストモード専用)

キーを 1 秒間押し続けると 127 を出力します。0 には戻りません。

-Pedal

エクスペリションペダルが接続されている場合、そのペダルからの現在の値を出力します。

-Init (スタンドアロンモード専用)

現在のプリセットが読み込まれるたびに 127 を出力します。特定のプリセットが読み込まれた際に値を初期化したい場合に便利です。Modline の最小値 / 最大値、またはオフセット設定を使って出力値を調整できます。

-Nav Yx10 & Key

ナビパッドと連動して動作します。ナビパッドが「プログラムチェンジモード」または「Nav Y Decade」ソースを使用している必要があります。ナビパッドの現在のカウンター値が 10 倍され (例: 20、30、40 など)、その値にこのソースが設定されたキーの番号が加算されて最終的な出力値になります。

-Key 0-9 Pressed

対応するキーが押されたときに 127 を出力します (例: Key 4 Pressed を使用すると、キー 4 が押されたときに 127 を出力)。他のキーの LED をオン / オフにするのに便利です。

-Other Key Pressed

このソースを割り当てたキー以外のキーが押されると 127 を出力し、そのキー自身が押されると 0 を出力します。
例: キー 2 に設定すると、キー 2 が押されたときは 0、それ以外のキーが押されたときは 127 を出力します。

-Modline 1-6 Output

他の Modline (1 ~ 6) の最終出力値をこの Modline に入力ソースとして利用します。複雑な処理や追加のデータ加工が必要な場合に便利です。

-MIDI A-H (ホストモード専用)

設定ウィンドウで指定した MIDI 入力からの値を受信し、そのまま Modline に通します。

-OSC A-H (ホストモード専用)

設定ウィンドウで指定した OSC 入力からの値を受信し、そのまま Modline に通します。

■ データ修飾 (Data Modifiers)

センサーソースからのデータは、Modline 内で出力設定に送られる前に、以下の修飾機能を通して:

-Gain (ゲイン)

入力値に乗算を行います。デフォルトは 1.00。値を増幅または縮小するために使用します。

-Offset (オフセット)

入力値に加算を行います。負の数を入力すれば減算になります。デフォルトは 0。

-Result (ホストモード専用)

Gain と Offset の処理を通して後の Modline の値をリアルタイムで表示します。

■ テーブル (Table)

「Table」では、Modline に入力される値に適用するルックアップテーブル (変換カーブ) を選択します。トグル動作やカウンター操作にも使用されます。選べるテーブルは以下の通りです:

-Linear (リニア)

1:1 の直線カーブ。入力値はそのまま出力され、変化はありません。

-Sine (サイン)

入力値にサインカーブを適用します。

-Cosine (コサイン)

入力値にコサインカーブを適用します。

-Exponential (指数)

指数カーブ。低い値はゆるやかに、高い値は急激に上昇します。

-Logarithmic (対数)

対数カーブ。低い値は急上昇し、高い値はゆるやかに上昇します。

-Toggle (トグル)

0 → 127、または 1 → 2 などの正方向の変化が検出されるたびに、127 と 0 を交互に出力します。

" Foot On" ソースと組み合わせると、トグルスイッチとして機能します。

-Counter Inc (ホストモード専用)

キーのカウンターを 1 ずつ増加させ、その値を出力します。正方向の変化がトリガーになります。

-Counter Dec (ホストモード専用)

キーのカウンターを 1 ずつ減少させ、その値を出力します。0 → 正の値への変化がトリガーになります。

-Counter Set (ホストモード専用)

Modline を通った値をそのままカウンターの値として設定・出力します。

-Random (ランダム)

ランダムなルックアップテーブルを適用します。

-Scales (音階)

以下のスケールにマッピングします:

メジャー、ナチュラルマイナー、ハーモニックマイナー、ドリアン、フリジアン、リディアン、ミクソリディアン、ロクリアン

■ 出力値の制御

-Min (最小値)

出力できる最小値を設定します。これより小さい値はすべてこの値にクリップされます。

-Max (最大値)

出力できる最大値を設定します。これより大きい値はすべてこの値にクリップされます。

-Smooth (スムージング)

出力値の変化を滑らかにします。次の値までにかかる時間 (ミリ秒) を指定します。

短い値は細かな揺れを抑え、長い値は滑らかなフェードやランプを作ります。

範囲: 0 ~ 5000ms

-Delay (ホストモード専用)

入力値にディレイ (遅延) を加えます。時間はミリ秒で設定します。

範囲: 0 ~ 5000ms

-Value (ホストモード専用)

データ修飾処理 (Gain、Offset、Table、Smooth など) を通過した後の Modline の最終値をリアルタイムで表示します。

■ 出力設定 (Output Settings)

出力設定セクションでは、Modline が送信する MIDI メッセージの種類と出力先ポートを指定します。

■ メッセージタイプ (Message Type)

メッセージタイプでは、Modline がどの種類の MIDI メッセージを出力するかを選択します (他のタイプもありますが、MIDI が最も一般的です)。

選択したタイプによって、ノート番号やベロシティ、CC 番号、チャンネルなど、動作をさらに細かく設定できます。

使用可能なメッセージタイプ:

-None (なし)

メッセージを出力しません。Modline が LED 制御専用、または別の Modline で使用されるための中間処理として使われる場合に便利です。

-Note Set (ノートセット)

指定されたノート番号とベロシティで MIDI ノートを出力します。

出力値が正の数なら Note On、0 なら Note Off を送信します。

設定項目:

- Note: 出力するノート番号を設定
- Vel: 出力するノートオンメッセージのベロシティ
- Ch: ノートメッセージを出力する MIDI チャンネル

-Note Live (ノートライブ)

Modline 内の値に応じたノート番号を出力します (動的に変化)。ベロシティとチャンネルは固定で設定します。

設定項目:

- Vel: ノートオン時のベロシティ
- Ch: ノートを送信する MIDI チャンネル

-CC (コントロールチェンジ)

指定された CC 番号で値を出力します。

設定項目:

- CC#: 送信するコントロールチェンジの番号
- Ch: CC メッセージを出力する MIDI チャンネル

この出力設定により、SoftStep の各キーを多彩な MIDI 制御ソースとして細かく設定できます。

● Bank (バンクセレクト)

MIDI のバンクセレクトメッセージとして値を出力します。

設定項目:

- MSB: バンクセレクトメッセージの MSB (最上位ビット) を設定します
- Ch: MIDI チャンネルを設定します

※ バンクセレクトは 14 ビット解像度 (0 ~ 16383) で構成され、MSB と LSB の 2 つのメッセージによって送信されます。SoftStep では、Modline を通った値が LSB に割り当てられ、MSB は MSB オプションで固定されます。

● Program (プログラムチェンジ)

MIDI プログラムチェンジメッセージを出力します。

設定項目:

- Ch: MIDI チャンネルを設定します

● Pitch Bend (ピッチバンド)

MIDI ピッチバンドメッセージを出力します。

- 値の意味:

- 0 = フルバンドダウン
- 64 = 中央 (バンドなし)
- 127 = フルバンドアップ

設定項目:

- Ch: MIDI チャンネルを設定します

● MMC (MIDI マシンコントロール)

MIDI マシンコントロールメッセージを送信します。外部のレコーダーや DAW など、MMC 対応機器の再生/停止などを制御可能です。

設定項目:

- ID: MMC メッセージのデバイス ID を設定します(各機器に固有の ID が必要。多くの機器やソフトでは変更可能です)
- Function: 送信する MMC コマンドを選択します:

- ・ Stop (停止)
- ・ Play (再生)
- ・ Deferred Play (ディファード再生)
- ・ Fast Forward (早送り)
- ・ Rewind (巻き戻し)

- Punch In (パンチイン)
- Punch Out (パンチアウト)
- Pause (一時停止)

● OSC (ホストモード専用)

OSC (Open Sound Control) メッセージを出力します。OSC 設定(入力ポート、出力ポート、出力 IP アドレスなど) は「Settings」ウィンドウの「OSC」タブで設定します。

設定項目:

- Output Prefix: OSC メッセージのタブを指定します。通常は「/」で始まります(例: "/softstep", "/controller")。タブを指定しない場合はデフォルトで "/softstep" が使用されます。

● Aftertouch (ホストモード専用)

MIDI チャンネルアフタータッチメッセージを出力します。

設定項目:

- Ch: 出力する MIDI チャンネルを設定します。

● Poly Aftertouch (ホストモード専用)

MIDI ポリフォニック・アフタータッチ・メッセージを出力します。

設定項目:

- Note: このポリフォニックアフタータッチに関連付けるノート番号を指定します。
- Ch: 出力する MIDI チャンネルを設定します。

● Y Inc Set (ホストモード専用)

キーの Y インクリメント値を即座に設定します。Modline に流れた値が、そのキーの Y 軸インクリメント値として設定されます。他のキーやプリセットからの初期化などに便利です。

● X Inc Set (ホストモード専用)

キーの X インクリメント値を即座に設定します。Modline に流れた値が、そのキーの X 軸インクリメント値として設定されます。こちらも他のキーやプリセットからの初期化用途に適しています。

出力ポート

Modline メッセージを送信する MIDI ポート/デバイスを選択します。

SoftStep USB MIDI ポート (スタンドアロンモード専用)

SoftStep USB MIDI ポートは、SoftStep からコンピューターへデータを送信するために使用します。

SoftStep Share ポート (ホストモード専用)

SoftStep Share は、Mac OS 版の Advanced Editor に付属する仮想 MIDI ポートです。

これはアプリケーション間の MIDI バスとして機能し、エディターから他のアプリケーションへ MIDI をルーティングします。

Windows 版の Advanced Editor には仮想 MIDI ポートが付属していないため、ユーザーは任意のサードパーティ製 MIDI バスをダウンロードしてインストールする必要があります。

ホストモードに入ったときに「SoftStep Share」という仮想 MIDI ポートが表示されない場合は、仮想ポートを作成するためのサードパーティアプリケーション「LoopMIDI」のダウンロードを促されます。

SoftStep TRS MIDI Out ポート

SoftStep TRS MIDI Out ポートは、SoftStep TRS MIDI Out ポートに接続された外部ハードウェアへデータを送信するために使用します。

SoftStep CV Out ポート

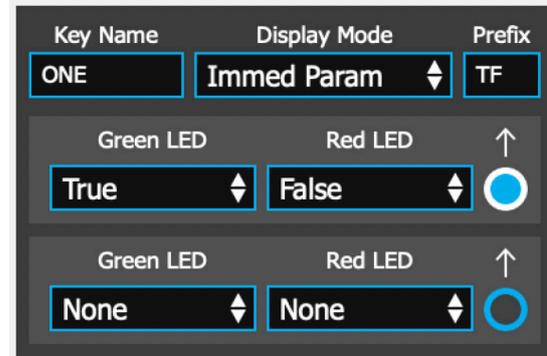
SoftStep CV Out ポートは、SoftStep CV Out ポートに接続された外部ハードウェアへデータを送信するために使用します。

LED + ディスプレイ設定

LED + ディスプレイ設定セクションには、キー・モジュレーションウィンドウの右上にある「LED + DISPLAY SETTINGS」ボタンをクリックしてアクセスします。

この設定では、SoftStep キーの LED の動作や、キーが押されたときの SoftStep ディスプレイの表示動作を定義します。

表示されると、LED + ディスプレイ設定は次のように見えます：



キー名

キーの名前を設定します。キー名は、ディスプレイモードの設定に従って SoftStep のディスプレイに表示されます。キー名は、エディターのメインウィンドウ内のキー・ボックス領域でも編集できます。

ディスプレイモード

キーが押されたときに、SoftStep ディスプレイ上にキー名をどのように表示するかを設定します。使用可能なすべてのディスプレイモードとその動作については、「ディスプレイモード」セクションを参照してください。

ラベル

SoftStep ディスプレイ上のパラメーター値の前に追加できる 1 ~ 2 文字の文字列です。

例:「FF」 というラベルと Modline 値が 57 の場合、ディスプレイには「FF57」と表示されます。

ラベルが不要な場合は空欄のままにします。

緑色 LED

キーの緑色 LED の動作を設定します。使用可能なすべての LED モードとその動作については、「LED モード」セクションを参照してください。

赤色 LED

キーの赤色 LED の動作を設定します。使用可能なすべての LED モードとその動作については、「LED モード」セクションを参照してください。

アクティブディスプレイ Modline セレクター

ディスプレイモード設定に使用する Modline のデータを選択します。1 つのキーにつき、選択できる Modline は 1 つだけです。

ディスプレイモード

「ディスプレイモード」では、キー名を SoftStep のディスプレイにどのように表示するかを設定できます。

None

SoftStep のディスプレイに影響を与えません。このモードが選択されたキーを踏むと、現在のプリセット名が表示されます。

Always

キーが押されるたびに、常にキー名を表示します。このモードでは、ラベルやパラメーター値は使用されません。

Once (ホストモード専用)

キーが初めて押されたときにキー名を表示し、しばらくするとラベルとパラメーター値が表示されます。その後のキー操作では、ラベルとパラメーター値が表示されません。

Initial/Return

キーが押されるとすぐにキー名が表示され、短い時間の後にラベルとパラメーター値が表示されます。

Immed Param

キーが押されるたびに、ラベルとパラメーター値を表示します。

LED モード

LED モードでは、SoftStep の LED がどのように動作するかを設定します。点灯・消灯のタイミングなどを定義できます。以下の各オプションは、Advanced Editor で緑色 LED・赤色 LED の両方に利用可能です。

None

LED の状態に影響を与えません。現在点灯している場合はそのまま点灯を維持し、消灯している場合もそのままです。

True

Modline 値が 1 以上のときに LED が点灯し、0 のときに消灯します。

False

Modline 値が 0 のときに LED が点灯し、1 以上のときに消灯します。

Flash True

Modline 値が 1 以上のときに LED が継続的に点滅し、0 のときに消灯します。

Flash False

Modline 値が 0 のときに LED が継続的に点滅し、1 以上のときに消灯します。

Flash Fast True

Modline 値が 1 以上のときに LED が高速で継続的に点滅し、0 のときに消灯します。

Flash Fast False

Modline 値が 0 のときに LED が高速で継続的に点滅し、1 以上のときに消灯します。

Blink True

Modline 値が 1 以上のときに LED が一度だけ点滅します。Modline 値が 0 のときは何も起こりません。

Blink False

Modline 値が 0 のときに LED が一度だけ点滅します。Modline 値が 1 以上のときは何も起こりません。

Off

Modline 値が 1 以上のときに LED を消灯します。

ナビパッド・モジュレーションウィンドウ

ナビパッドのモジュレーションウィンドウは、他のキーのモジュレーションウィンドウとはいくつか異なる点があります。

最も大きな違いは、左上にある「モード設定」で、以下の 2 つのオプションがあります：

- ・Modline：ナビパッドを通常のキーと同様に Modline で使用します。
- ・Program Change: このモードでは、ナビパッドを「Nav Yx10 & Key」ソースと組み合わせて、Min から Max Count の範囲で 10 刻み（“ディケード”）でカウントします。このオプションを選択すると、ナビパッドでの Modline の使用は無効になります。

ナビパッドには専用のデータソースもあります。以下のソースはナビパッド専用です：

Nav Y (ホストモード専用)

ナビパッドの上キー(北)を押すとカウンターがインクリメントされ、下キー(南)を押すとデクリメントされます。

Nav Y Decade (ホストモード専用)

ナビパッドの上/下キーを押して、カウンターがインクリメント/デクリメントされ、その値に 10 が掛けられた“10 の位”の値になります (例：20、30、40、50 など)。その後、「Nav Yx10 & Key」を使ってキーを踏むと、そのキー番号が“10 の位”の値に加算されます。

“10 の位”の範囲は、ナビパッド・カウンターの Min および Max オプションで調整できます。

Nav Y Inc-Dec

Y インクリメントソースのナビパッド版です。ナビパッドの上キー(北)を押すと値がインクリメントされ、下キー(南)を押すとデクリメントされます。範囲：0 ~ 127

Nav N Foot On (ホストモード専用)

Foot Onソースのナビパッド版の1つです。ナビパッドの北キー(上)を押すと127を出力し、離すと0を出力します。

Nav S Foot On (ホストモード専用)

Foot Onソースのナビパッド版の1つです。ナビパッドの南キー(下)を押すと127を出力し、離すと0を出力します。

Nav N Foot Off (ホストモード専用)

Foot Offソースのナビパッド版の1つです。ナビパッドの北キー(上)を押すと0を出力し、離すと127を出力します。

Nav S Foot Off (ホストモード専用)

Foot Offソースのナビパッド版の1つです。ナビパッドの南キー(下)を押すと0を出力し、離すと127を出力します。

Nav N Trig (ホストモード専用)

ナビパッドの北キーが500ms間押し続けられると127を出力し、その100ms後に0を出力します。

Nav N Trig Fast (ホストモード専用)

Fast Trigソースと同様で、ナビパッドの北キーに適用されます。

Nav N Trig Dbl (ホストモード専用)

Dbl Trigソースと同様で、ナビパッドの北キーに適用されます。

Nav N Trig Long (ホストモード専用)

Long Trigソースと同様で、ナビパッドの北キーに適用されます。

Nav S Trig (ホストモード専用)

ナビパッドの南キーが500ms間押し続けられると127を出力し、その100ms後に0を出力します。

Nav S Trig Fast (ホストモード専用)

Fast Trigソースと同様で、ナビパッドの南キーに適用されます。

Nav S Trig Dbl (ホストモード専用)

Dbl Trigソースと同様で、ナビパッドの南キーに適用されます。

Nav S Trig Long (ホストモード専用)

Long Trigソースと同様で、ナビパッドの南キーに適用されます。

3 -4. コントロール・ボルテージ (CV)

SoftStep3 には 2 つの CV アウトが搭載されており、モジュラーシンセやその他のアナログ機器を制御するためのコントロール・ボルテージ信号を送信できます。

MIDI から CV へのマッピング

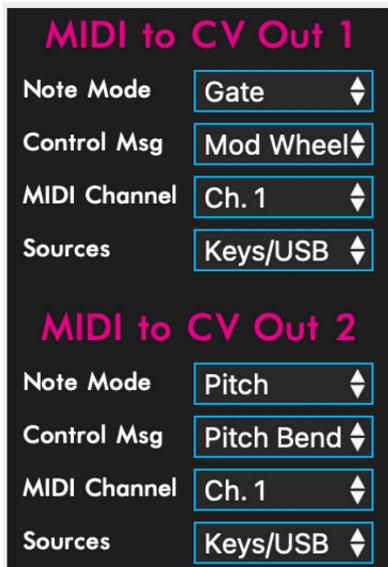
SoftStep3 をさまざまなソースから CV アウトを送信するように設定するには、エディターソフトのメインウィンドウ右側にあるコントロールを使用します。

ノートモード

SoftStep CV Out ポートで受信した NOTE メッセージに対して、CV Out の応答を設定します。

- ・ゲート : Note On で 5V、すべてのノートが離されたときに 0V
- ・ピッチ : 0 ~ 5V、1V/Oct スケーリング
- ・ペロシティ : ノートのペロシティ値を 0 ~ 5V で表現
- ・無効 : Note On/Off メッセージをすべて無視します

※「All Notes Off」(CC#123) やトランスポートの STOP メッセージを受信すると、すべてのゲートがオフになります。



コントロールメッセージ

SoftStep CV Out ポートで受信した MIDI メッセージで CV アウトを制御します。

- ・ピッチベンド : キー Modline からの値 (0 ~ 127) が 12 ビット CV DAC にスケールリングされます。USB メッセージは 14 ビットからスケールリングダウンされます。
- ・モジュレーションホイール : CC#1 の値 (0 ~ 127) を 12 ビット CV DAC にスケールリング
- ・アフタータッチ : チャンネルプレッシャー (0 ~ 127) を 12 ビット CV DAC にスケールリング
- ・無効 : 上記すべてのメッセージを無視します。

MIDI チャンネル

CV は、指定した MIDI チャンネルで送信されたキー Modline および/または USB メッセージに回答します。

ソース

CV は、SoftStep キーからのメッセージ、「SoftStep CV」USB MIDI ポートからのメッセージ、またはその両方に回答できます。

※注意 : ホストモードでは、キーや Modline が CV アウトを制御するには、「SoftStep CV」USB MIDI ポートにメッセージを送信する必要があります。

3 -5. プリセット管理

はじめに重要な点として、ホストモードで作成されたプリセットとスタンドアロンモードで作成されたプリセットは別物であり、互換性はありません。一方のモードで作成したプリセットは、もう一方のモードでは使用できません。保存されたプリセットの一覧やセットリストも、それぞれのモード専用となっています。モードを切り替えると、自動的に対応するプリセットリストに切り替わります。

ホストモードでは、SoftStep はエディターソフトと接続された状態で使用されます。プリセットへの変更はリアルタイムで反映されます。ナビパッドの左右を押して、セットリスト内のプリセットを順に切り替えられます。

スタンドアロンモードでは、SoftStep は本体内部に最大 16 個のプリセットを保存したセットリストを持ち、エディターを実行中のコンピューターに接続せずに使用できます。プリセットへの変更はリアルタイムでは反映されず、セットリストに保存してから SoftStep に送信する必要があります。

プリセットセクション

プリセットセクションは、Advanced Editor のメインウィンドウ左上にあります。ここでプリセットの保存、元に戻す、削除ができます。また、スタンドアロンモードで使用する場合には、ここからプリセットセットリストを SoftStep に送信します。



プリセット選択ドロップダウン

クリックすると、すべてのプリセットの一覧が表示されます。選択したプリセットが現在のアクティブなプリセットとして読み込まれます。

保存ボタン

クリックすると、現在のプリセットに加えた変更を保存します。保存されていない変更がある場合、このボタンは赤く点灯します。

名前を付けて保存ボタン

クリックすると、現在のプリセットに加えた変更を新しいプリセットとして保存します。編集元だった元のプリセットは、最後に保存された状態に戻ります。

元に戻すボタン

プリセットを最後に保存された状態に復元します。保存されていない変更はすべて失われます。

削除ボタン

現在選択されているプリセットを削除します。誤操作を防ぐために、クリックすると確認ダイアログが表示されます。

SoftStep に送信ボタン (スタンドアロンモード専用)

セットリスト内のプリセットを現在接続されている SoftStep に送信して更新します。ホストモードではこのボタンは無効化され、グレー表示になります。

プリセットセットリスト

メインウィンドウの「Setlist」ボタンを押すと、セットリストウィンドウが開きます。

セットリストは、SoftStep 本体の内部メモリに送信されるプリセットの選択と並び順を定義するものです。最大 16 個のプリセットを選んで順番に並べられます。

この順番で、ナビパッドの左右キーを押すと SoftStep 上でプリセットが切り替わります。

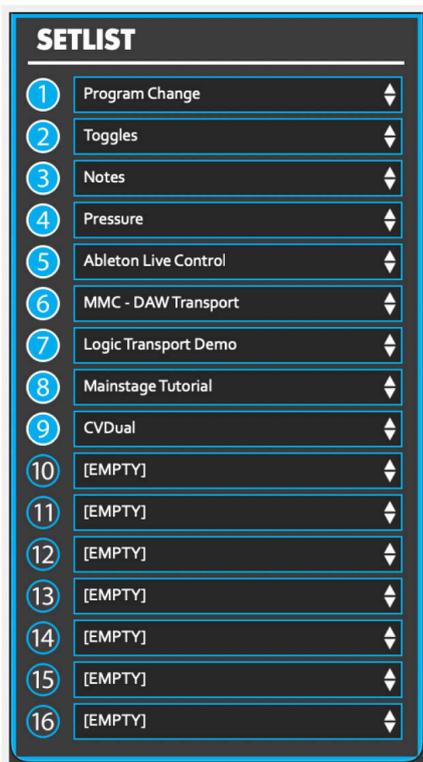
ドロップダウンメニューからプリセットを選択してセットリストに配置します。青い番号ボタンをクリックすると、そのスロットのプリセットを空にできます。

プリセットのインポートとエクスポート

プリセットは「.softsteppreset」ファイルとして保存・共有できます。ファイルメニューからプリセットのインポートとエクスポートを行います。

エディタープリセットディレクトリ

ファイルメニューの「Editor Preset Directory」を選ぶと、プリセット、セットリスト、設定が保存されているフォルダが開きます。このフォルダの内容を削除すると、次回エディター起動時に「工場出荷時のデフォルト」プリセットで自動的に再生されます。



3 -6. 設定ウィンドウ

「Settings」ボタンを押すと、設定ウィンドウが開きます。設定ウィンドウ上部の「GLOBAL」「KEYS」「INPUT」ボタンをクリックすると、それぞれのタブに切り替わります。

設定メニューで行った変更は、接続されている SoftStep にリアルタイムで反映されます (例: 感度の調整やバックライトの設定など)。

グローバルタブ

グローバルタブでは、SoftStep 全体に適用される設定を行います。LED バックライトのオン/オフ、センサーの反応、感度調整などを設定できます。

バックライトの明るさ

SoftStep の LED の明るさを調整します。

シーン切り替えオン/オフ

ナビパッドの左右キーでのシーン切り替えを有効/無効にします (スタンドアロンモード専用)。

センサー反応

各キーにある 4 つのセンサーから、キーの押圧をどのように判断するかを設定します。

- ・ Maximum: 最も高い値のセンサーのみを使用して押圧を判断します。
- ・ Average: 4 つのセンサーの平均値で押圧を判断します。

ディスプレイモード切り替え

プログラムチェンジメッセージに対するディスプレイの表示方法を切り替えます。

0 ~ 127 または 1 ~ 128 の範囲で表示を選択できます (スタンドアロンモード専用)。

キーセーフティモード

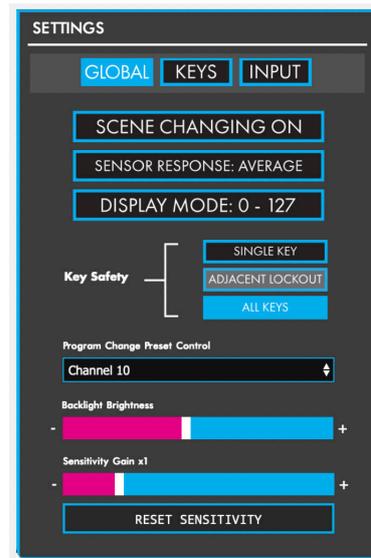
同時にアクティブにできるキーの数を制限します。

- ・ Single Key: 一度に 1 つのキーのみがアクティブになります。
- ・ Adjacent Lockout: (ホストモード専用) アクティブなキーの隣接キーは無効になります。
- ・ All Keys: すべてのキーが常にアクティブ可能です。

感度調整

SoftStep の感度を調整します。スライダーを右 (「+」方向) に動かすと感度が上がり、左 (「-」方向) に動かすと感度が下がります。

「RESET SENSITIVITY」ボタンを押すと、スライダーが初期設定値に戻ります。



Key タブ

Key タブでは、各 SoftStep キーおよびナビパッドに対する個別の設定を行います。各キーまたはナビパッドの方向ごとに、オン/オフのしきい値や X/Y インクリメント速度を調整できます。

X インクリメント速度

X インクリメントソースがインクリメント/デクリメントされる速度を設定します。値が大きいかほど動作が速くなり、値が小さいほど遅くなります。

Y インクリメント速度

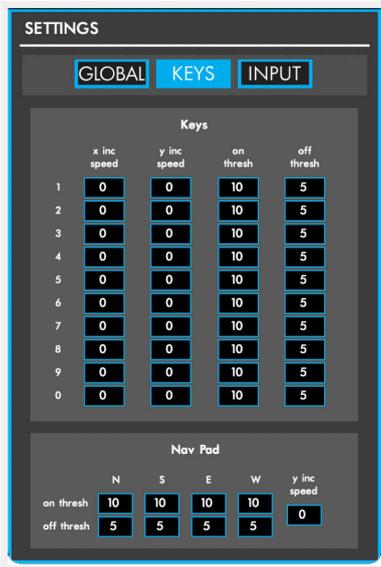
Y インクリメントソースがインクリメント/デクリメントされる速度を設定します。値が大きいかほど動作が速くなり、値が小さいほど遅くなります。

オンしきい値

キーが「オン」(または「トリガー」)と見なされるために必要な圧力を設定します。値が高いほど多くの圧力が必要になり、値が低いほど少ない圧力で反応します。

オフしきい値

キーが「オフ」(または「リリース」)と見なされるために必要な圧力を設定します。値が高いほどすぐにオフになり(圧力があまり下がらなくてもオフになる)、値が低いほど遅くオフになります(圧力が大きく下がる必要がある)。



Input タブ

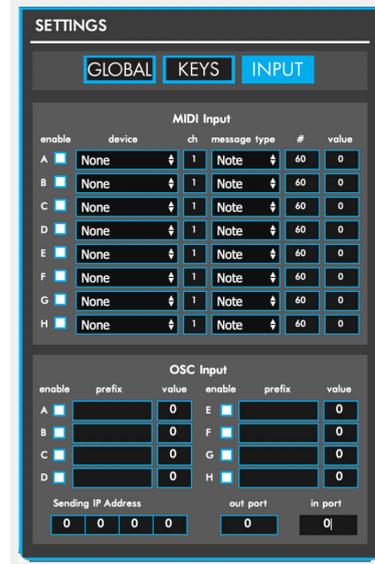
Input タブには、ホストモード時の MIDI および OSC 入力オプション、スタンドアロンモード時の MIDI スルーポートの設定が含まれます。

MIDI 入力 (ホストモード専用)

MIDI 入力セクションでは、他の MIDI デバイスやソフトウェアからの MIDI を受信するための設定を行います。

Modline 内で使用するために、8 つの MIDI 入力(A ~ H)が用意されています。入力の有効/無効は「enable」チェックボックスで切り替えます。

- ・ Device : データを受信する MIDI デバイスを設定します。
- ・ Channel : 受信する MIDI チャンネルを設定します。他のチャンネルの MIDI は無視されます。
- ・ Message Type : 受信するメッセージタイプを設定します。他のタイプは無視されます。
- ・ # : 特定のノート番号、コントロールチェンジ番号、またはプログラムチェンジ番号を指定します。その他の番号は無視されます。



OSC 入力 (ホストモード専用)

OSC 入力セクションでは、他の OSC 対応ソフトウェア/デバイスから OSC を受信するための設定(および 1 つの送信設定)を行います。

Modline で使用できるように、OSC 入力は 8 つ (A ~ H) 用意されています。

- ・ Enable : この OSC 入力の有効/無効を切り替えます。
- ・ Prefix : 受信対象とする OSC タブを設定します。他のタブは無視されます。
- ・ Value : 受信中の値をリアルタイムで表示します。この値が、OSC A ~ H ソースを使用する Modline に渡されます。
- ・ Sending IP Address : OSC メッセージを出力する先の IP アドレスを設定します(初期値: 127.0.0.1)。
- ・ Out Port : OSC を出力するポート番号を設定します(初期値: 7000)。
- ・ In Port : OSC メッセージを受信するポート番号を設定します(初期値: 7001)。

MIDI スルーポート (スタンドアロンモード専用)

MIDI THRU は、SoftStep に入力された MIDI を他の MIDI デバイスにルーティングする機能です。これにより、エディターでの変更を他のデバイスで確認できます。

ドロップダウンメニューから、MIDI データの出力先となる MIDI デバイスを選択します。

※すでに使用中の MIDI ポートを選択しようとすると、エラーメッセージが表示されて処理が停止します。

3 -7. メニューバー

「Settings」 ボタンを押すと、設定ウィンドウが開きます。設定ウィンドウ上画面上部のメニューバー (Mac OS) またはアプリケーションウィンドウ上部 (Windows) には、便利な機能や設定がいくつか用意されています。プリセットの管理、キーのコピー/ペースト、ファームウェアの管理などが可能です。

SoftStep Advanced Editor について

MacOS ではアプリケーションメニュー内、Windowsではヘルプメニュー内にあります。SoftStep Basic Editor のバージョン情報が表示されます。

ファイル

プリセットを書き出す

現在選択中のプリセットをハードディスク上の外部ファイルとして書き出します。プリセットを友人に送る、新しいコンピューターに移す、またはバックアップを作成する際に便利です。出力される「.softsteppreset」ファイルは、「プリセットを読み込む」機能で Advanced Editor にインポートできます (同じくファイルメニューにあります)。

プリセットを読み込む

「.softsteppreset」ファイルを読み込みます。バックアップからの復元、他人からのプリセットの取り込み、古いコンピューターからのプリセット移行などに使用します。

バージョン 1.21 からの Hosted/Standalone プリセットを読み込む
旧 SoftStep Editor (バージョン 1.21) からプリセットをインポートします。

1. 「Import Hosted/Standalone Presets From v1.21」を選択
2. 旧エディターの「Presets」フォルダを参照
3. 「Choose」をクリックするとインポートが自動で開始されます
4. プリセット選択ドロップダウンメニューを開く

ホストモードでは 1.21 のホストモード用プリセットが、スタンドアロンモードではスタンドアロン用プリセットが読み込まれます。この機能では、ホスト用プリセットをスタンドアロン用に、またはその逆も読み込みできません。

Editor Preset Directory を開く

ファイルメニューから「Editor Preset Directory」を選択すると、プリセット、セトリスト、設定が保存されているフォルダが開きます。このフォルダの内容を削除すると、次回エディター起動時に「工場出荷時のデフォルト」プリセットで再構築されます。

編集 (Edit)

プリセットをコピー

現在選択されているプリセットをコピーします。あとで別のプリセットに上書きしたり、新しいプリセットに貼り付けたりできます。

プリセットを貼り付け

コピーされたプリセットを、現在選択されているプリセットに貼り付けます。プリセットがすでにコピーされている場合のみ使用可能です。
※コピー&ペースト機能を使えば、ホストモードとスタンドアロンモードの間でプリセットを移行できます。ただし、使用されているソースが両モードで互換性があるのを確認してください。

新規プリセットに貼り付け

コピーされたプリセットを、新しいプリセットとして貼り付けます。プリセットがコピー済みである必要があります。

キーをコピー

現在選択されているキーの設定をコピーします (メインウィンドウ内のキー枠をクリックして選択)。

キーを貼り付け

以前にコピーしたキーの設定を、現在選択されているキーに貼り付けます。

ハードウェア (Hardware)

エクスペリションペダルのキャリブレーション

エクスペリションペダルのキャリブレーションウィンドウを開きます。詳細は該当セクションを参照してください。

CV アウトのキャリブレーション

CV キャリブレーションウィンドウを開きます。詳細は該当セクションを参照してください。

ファームウェアアップデートの強制

ファームウェアのアップデートを強制的に実行します。

ハードウェアリビジョンの表示

接続されているハードウェアを選択、または自動検出します。古いハードウェアでは使用できない機能 (例: CV アウトの制御、LED の明るさ調整など) の表示/非表示が切り替わります。

ファームウェアバージョンチェックを無視

古いバージョンのファームウェアがインストールされた SoftStep をエディターに接続したい場合に、ファームウェアバージョンの確認を無効にします。
警告: この機能は実験的なものであり、予期しない動作が発生する可能性があります!

ヘルプ (Help)

接続トラブルシューティング

SoftStep の接続問題を診断するパネルが表示されるウィンドウを開きます。指示に従い、診断レポートをコピー&ペーストして、<https://www.soundhouse.co.jp/customers/support/repair> に作成したサポートチケットに添付してください。

ドキュメント

このマニュアルのダウンロード版へのリンクを開きます。Web ブラウザのタブで開かれます。

ツールチップの表示/非表示

マウスカーソルをオブジェクトに重ねた際に表示されるツールチップを表示・非表示で切り替えます。

3 -7. SoftStep ポート

SoftStep をコンピューターに接続すると、3 つの MIDI ポートが検出されます: SoftStep Control Surface、SoftStep TRS MIDI Out (または旧ハードウェアでは SoftStep Expander)、SoftStep CV Out (旧ハードウェアでは非搭載)。これらのポートにより、コンピューターと SoftStep 間での双方向通信が可能となり、SoftStep が接続されている状態であれば、すべての MIDI 対応アプリケーションにこれらのポートが表示されます。

SoftStep Control Surface ポート

このポートは、SoftStep 本体とのデータの送受信に使用されます。スタンドアロンモードでは、アプリケーションはこのポートから SoftStep からの MIDI データを受信します。また、LED、ディスプレイ、プリセットの制御用データもこのポート経由で送信されます。

SoftStep TRS MIDI Out ポート

SoftStep の TRS MIDI Out 端子に接続された外部ハードウェアへ、MIDI データを送信するためのポートです。

SoftStep CV Out ポート

SoftStep の CV Out 端子に接続された外部アナログ機器へ、コントロール・ボルトテージ信号を送信するためのポートです。

ホストモードにおける SoftStep Control Surface ポート

ホストモードで動作している場合、SoftStep Control Surface ポートはスタンドアロンモードとは異なる動作をします。

ホストモードでは、SoftStep Control Surface ポートは SoftStep の生のセンサーデータをエディターに送信します。エディターがこのデータを処理し、適切な MIDI メッセージとして出力します。

※ SoftStep の生データは、MIDI CC メッセージ (CC#40 ~ 83) として現れます。各キー (ナビパッドを含む) につき 4 つの CC が使用されます。ホストモードで SoftStep を使用して「変な」CC メッセージが表示される場合、それはこのポートの出力によるものであり、使用中のソフトウェア側で SoftStep Control Surface ポートを無効化またはフィルター処理する必要があります。

Ableton Live、Traktor、Max/MSP など一部のアプリケーションではこれが可能ですが、Logic や MainStage など一部のソフトはすべての MIDI ポートを常に監視しており、フィルタリングできません。そのため、これらのソフトで MIDI マッピングを行う場合は注意が必要です。

SoftStep Share (ホストモード専用)

SoftStep Share は、Mac OS 版の Advanced Editor に付属する仮想 MIDI ポートで、アプリケーション間の MIDI バスとして使用されます。エディターから他のアプリケーションに MIDI をルーティングします。

SoftStep Share はホストモードでのみ利用可能かつ必要であり、オーディオ / MIDI アプリケーションはこのポートをリスニング対象に設定する必要があります。

使用方法は非常に簡単で、Advanced Editor を起動すると自動的に SoftStep Share が有効になり、Modline の出力ポートに「SoftStep Share」を選ぶだけで利用できます。

Windows ユーザーへ

Windows 版 Advanced Editor には仮想 MIDI ポートが付属していないため、ユーザー自身でサードパーティ製の仮想 MIDI バス (例: LoopMIDI) をダウンロード・インストールする必要があります。

ホストモードに入った際に「SoftStep Share」という仮想 MIDI ポートが存在しない場合、LoopMIDI などのアプリをインストールするよう案内されます。

※インストールを正常に行うためには、ユーザーアカウント制御 (UAC) を無効化する必要がある場合があります。